



南町小だより

令和 5年 7月 20日

校長 星 美 登 里

つよく かしこく あたたかく
～ ありがとうを とどけます ～

よく遊び よく学び ～充実した夏休みを～

副校長 沖山 宗弘



暑さに負けず野菜の花が咲いています。
左上からインゲンマメ、バジル、オクラ、ゴーヤ。

梅雨明けをしていないにもかかわらず、連日の酷暑となっております。保護者の皆様におかれましては、日々子どもたちの体調管理に気を配ってくださいありがとうございます。おかげさまで本日7月20日(木)、無事に1学期の終業式を迎えることができました。明日からは子どもたちが待ちに待った42日間の夏休み

に入ります。今年度は依然として警戒を緩めてはいけなはいとは言え、新型コロナウイルス感染症の感染症分類5類化を受け、コロナ禍以前の夏休みに近い形でレジャーや観光ができ、イベントなども開催されるものと思います。そこで、ぜひ子どもたちには、夏休みならではのふだんできない経験をしてもらいたいと思っています。題して「よく遊び よく学び」です。

子どもにとって遊ぶことによって育つ力にはどのようなものがあるのでしょうか。好奇心や自発性、他者との関わりが加われば協調性や自己主張、自己抑制など、大人になってコミュニケーションをとる上で必要な力がたくさんあります。さらにそれらが体を動かすことであれば、体力をつけることができ、ルールを考える柔軟性を育むことも期待できます。子どもたちは遊ぶことで大きく成長できるものと考えます。

さて、私自身ですが鉄道に関することが大好きです。このおかげで私は小学生時代、多種多様な力を付けることができました。路線図や時刻表を見て書き出すことで日本地図を脳にインプットしたり、電車の平均速度などを出したりすることができました。また模型を作ったり、写真を撮ったり、絵を描いたりすることで手先が器用にもなりました。また、教員になってからは、博物館や社会科・理科の学習に役立つような場所に行くことで、情報を仕入れたり話を聞いたりして知識を深め、授業に生かすことができました。また、私がかつて職場で一緒にいた先生の中には、奥多摩の水源林まで行き、研究授業の講師に水源林の方に来ていただく約束まで取り付けた方がいました。これもご本人が得意とする運動を仕事に生かすことができた好例であると考えています。

このように、子どもでも大人でも、遊びや趣味にたくさん触れることは、結果として深い学びにつなげることができるものと思います。夏休みはお子様向けのイベントがたくさんあります。連日夏休みのイベントの案内を配らせていただいておりますが、その中に光るものがあるかもしれません。熱中症や事故への対策を十分に行ったうえで、自然の中に出かけたり、文化的な施設に足を運んだりして、遊びの中から有意義な学びをしていただきたいと思います。

最後になりますが、貴重な経験のサポートを学校としてもすべきところ、今年度は西側トイレ全面改修工事のために、水泳指導や学力補充教室、図書開放等、知力・体力・好奇心などを高めることにおいて子どもたちをサ

ポートできなくなりました。大変申し訳ございません。その分、地域の公共施設などを存分に活用し、有意義な夏休みにしてください。

それでは、9月1日に、子どもたちが笑顔で元気に登校してきてくれることを楽しみにしています。